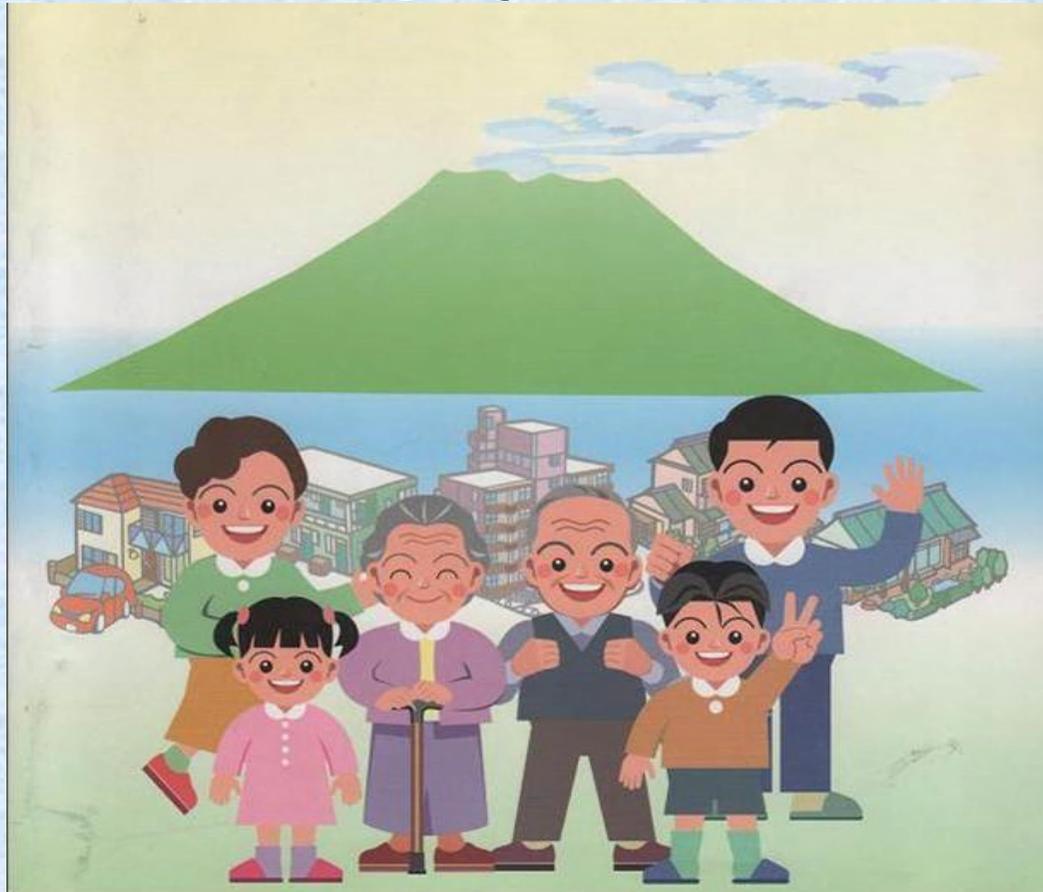


鹿児島市セーフコミュニティ 高齢者の安全分野のモデル地区の取組



発表者： 皇徳寺台東町内会
会長 種子島 時基

皇徳寺台東町内会の特徴と取組のきっかけ

- ・発足25年、約1,400世帯、人口4,000人
- ・加入率は93%と高く、住みやすいまちづくりを目指し、住民主体で様々な取組を実行
- ・子育て世代から、高齢者の世代へ移行しつつある。

【課題】住民の高齢化が進むなか、将来を見越して新たな取り組みを必要としていた。

- ・モデル地区としてセーフコミュニティへの参加を決定
- ・町内会が一体となって取り組むため、町内会の組織にセーフコミュニティ会議を設置

データ分析による課題と目標

課題

分析

高齢者の死亡原因は転倒転落が多い。自宅や歩道・道路等身近な場所で事故やケガが多い。

分析

転倒に対する不安は高齢になるほど大きく運動不足が原因と思っている。要介護・要支援認定者も年々増えている。

具体的目標

高齢者の転倒による外傷の減少

取組内容

- ① 転倒予防のための料理教室・講習会の実施
- ② 転倒予防のための運動教室の実施
- ③ 住環境の改善

課題

分析

今後認知症を患う高齢者は増えると予想されている。

被虐待者の半数以上は認知症を患っている。

具体的目標

虐待や認知症への啓発・理解の促進

取組内容

- ④ 認知症に関する意識啓発
- ⑤ 民生委員・認知症見守りメイトによる見守り活動

取組 I 転倒予防のための料理教室

充実

実施者 ⇒ 町内会
場所 ⇒ 谷山北公民館
参加人数 ⇒ 延べ71名



「ひとりでできるもん！」まずはやってみる



新

からだにいい献立を習います。



包丁を握ったこと、台所にも立ったことがなく、いざというときのための準備が必要、この企画はありがたい。(73歳男性)

丈夫な身体を維持でき、健康的な生活を送ることができる

取組Ⅱ

らくらく体操を取り入れた運動の普及

充実

	実施内容
実施者	町内会
対象者	高齢者・町内会住民
内容	<p>新 老人クラブ加入者だけの教室であったものを、<u>クラブに加入していない、町内会の高齢者にも参加を呼びかけ、地域福祉館でらくらく体操を取り入れた転倒予防教室を毎月2回実施。</u>町内会の様々なイベントでも、参加者と一緒に、らくらく体操を実施</p>



誰でも取り組みやすい”らくらく体操”を実施することで多くの高齢者の参加が望め、足腰の強化を図ることができる。

取組Ⅲ 住環境の改善

新規

自宅等身近な場所で事故やけがが多い

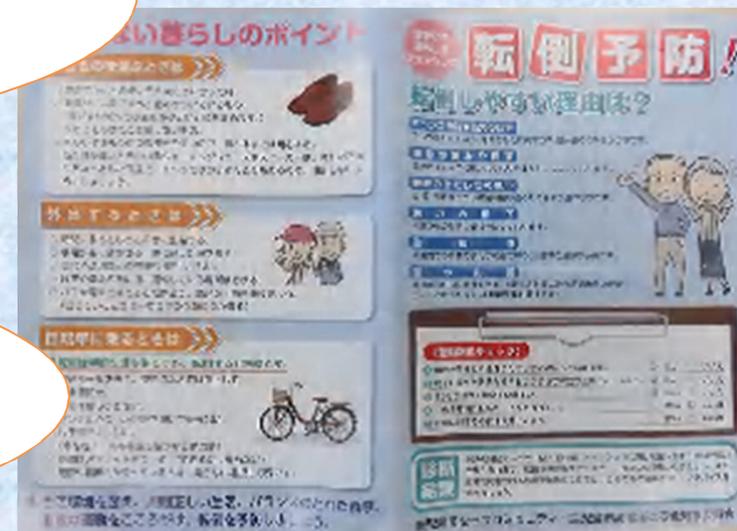
新

自宅内の危険要素や転ばない暮らしのポイントをパンフにまとめ高齢者に周知・広報する

住宅の点検

・住宅の改修
手すりの設置、段差解消 など

転倒予防の対策を講じることで、安心して過ごすことができる。



転倒予防対策の必要性を認識し、実践して自分を守る。

取組Ⅳ 認知症の講演会を開催

新規

場 所 ⇒ 皇徳寺台東町内会集会所
実施者 ⇒ 町内会
演 目 ⇒ 認知症サポーター養成講座
参加人数 ⇒ 延べ80名



講義を聴き、優しい
気持ちで接したいと
思うようになりました。

多くの人に啓発！

優しく接することの心がけが大事

認知症の予防、理解に努める。認知症を知り、認知症家族の理解を図る。

取組Ⅴ 地域の見守り活動【マップの作成】

充実

作成者⇒町内会

町内会が地域の高齢者を把握して見守り活動を行うことで、住民が安心して暮らすことができる。



住民の実態把握

班長が各戸を訪問し、家族構成等聴取

新

班ごとにマップ作成

地図に高齢者世帯をひとり暮らし・高齢者のみ・家族と同居等と書き込む

マップの完成

福祉部員でまとめ、一覧にする

住民による住民のための見守り体制の確立

セーフコミュニティ活動による変化

●町内会と各支援団体、行政の活動を共有でき、連携・協力体制が充実してきた。

●町内会にセーフコミュニティ会議を結成し、話し合いながら取組を進めることで、地域の連帯感が強化されている。

ご清聴ありがとうございました



みんなで作る
セーフコミュニティ かがしま